

「なんとかしなきや！」で、未来を耕せ!

「これはとてもいいプロジェクトだと思う。ぜひ参加したい」。何気ないそんなコメントが、心に染みてくるとききた。100人近くの方が集まった「なんとかしなきや」プロジェクトの説明会の質疑応答の中で、とあるNGOの方からいただいた言葉である。

このプロジェクトは国際協力に携わる方々とともに立ち上げる市民参加型の事業。多くの著名人の方々にご賛同いただき、ウェブを中心に展開する。準備期間中、ユーザーとなるNGOのみならず意見を求め、全国を歩いた。時には厳しい意見を浴び、非難されることもあったが、同時に大きな期待も感じる日々が続く。そんな中、国際協力NGOセンター(JANIC)さん、国連開発計画(UNDP)さんよりご賛同をいただき、実行委員会が結成され、プロジェクトは実現に向けて大きく前進した。

なぜ、いま、「なんとかしなきや！」なのか。これまで国際協力に携わる方々が、開発途上国の実情を伝え、国際協力の必要性と参画を訴えてきた。しかし、長引く経済・財政危機やグローバル化の進行、さらには少子高齢化に伴う日本の社会の急激な変容が、将来への不安となつて、この国に住む人々の目を内向きにさせてしまっているように思える。途上国は海の向こうの関係ない世界にしか見られない。

しかし、途上国の「なんとかしなきや！」は、実は日本の「なんとかしなきや！」。途上国が直面する厳しい現実を地球市民的視点で解決すべき。同時に、相互依存の世界では、途上国の安定と発展なくして、日本の未来はない。

このプロジェクトは、そうした幅広い視点でさまざまな国際協力に関係するみなさんの声をひとつにして発信し、よりよい未来を耕す活動である。世界の、そして日本の「なんとかしなきや！」を市民のみならずの理解と行動で解決の道につなげていく。そのためにひとりでも多くの方の参加をお願いしたい。詳細は、「なんとかしなきや」へ。

広報室広報課長 友成晋也

本誌へのご意見・ご感想や
JICAへのご質問を
お寄せください。

プレゼント
付き

添付のアンケートはがき、Eメール、FAXから、本誌に対するご意見やご感想、またJICAへのご質問を、氏名・住所・電話番号・職業・年齢・性別・ご希望のプレゼントを明記の上、お送りください。ご記入いただいた個人情報統計処理およびプレゼント発送以外の目的で使用いたしません。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

◎応募締切：2010年9月15日

Email: jica@idj.co.jp
FAX: 03-3582-5745 (『JICA's World』編集部宛)

- ① JICAの支援で開発されたMONO (p16参照)
※ご希望の製品名をお書きください。
- ② 『JATA世界旅行博2010』ペア入場券 (p30参照)
- ③ 書籍『ぼくは8歳、エイズで死んでいくぼくの話』(p30参照)
- ④ 書籍『BOPビジネスのフロンティア』(p30参照)



③



④

本誌をご希望の場合は
下記方法で
お申し込みください。

申込方法

本誌をご希望の方には、送料をご負担いただく形でご送付いたします。巻末の払込取扱票に、氏名・住所・電話番号・ご希望の送付期間・送付開始月を明記の上、指定の金額を郵便局でお支払ください。入金確認後、発送手配をいたします(入金から1週間程度かかることもありますのでご了承ください)。複数冊、またはバックナンバーをご希望の方は送料が異なりますので、下記までお問い合わせください。

申込先 (株)国際開発ジャーナル社 業務部(発送代行)
住所 〒107-0052 東京都港区赤坂2-13-19 多聞堂ビル
TEL 03-3584-2191
FAX 03-3582-5745
Email order@idj.co.jp



次号予告 (2010年9月1日発行予定)

中南米

日本と歴史的関係が深く、また近年エネルギー資源や食料の供給地として注目を集める中南米に対するJICA協力を特集します。

未来を、耕せ。



なんとか
しなきゃ!

見過ごせない — 55億人

なんとかしなきゃ!

検索